



平成26年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年11月1日

上場取引所 東

上場会社名 小林製薬株式会社

コード番号 4967 URL <http://www.kobayashi.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 小林 章浩

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 グループ統括本社本部長 (氏名) 山根 聡

TEL 06-6222-0142

四半期報告書提出予定日 平成25年11月7日

配当支払開始予定日

平成25年12月5日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 機関投資家・アナリスト向け

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第2四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第2四半期	58,247	△0.0	8,623	4.7	8,840	0.1	5,953	△16.4
25年3月期第2四半期	58,253	△9.0	8,237	△23.1	8,830	△19.4	7,120	15.8

(注)包括利益 26年3月期第2四半期 7,645百万円 (△3.5%) 25年3月期第2四半期 7,921百万円 (26.8%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円銭	円銭
26年3月期第2四半期	145.40	—
25年3月期第2四半期	173.88	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円銭
26年3月期第2四半期	161,041	120,784	75.0	2,948.98
25年3月期	157,106	114,872	73.1	2,805.27

(参考)自己資本 26年3月期第2四半期 120,755百万円 25年3月期 114,871百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円銭	円銭	円銭	円銭	円銭
25年3月期	—	39.00	—	43.00	82.00
26年3月期	—	43.00	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	41.00	84.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円銭
通期	127,000	4.5	17,700	4.7	19,400	3.9	12,600	3.5	307.70

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年3月期2Q	42,525,000 株	25年3月期	42,525,000 株
② 期末自己株式数	26年3月期2Q	1,576,737 株	25年3月期	1,576,537 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年3月期2Q	40,948,325 株	25年3月期2Q	40,948,595 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料P.4「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(四半期決算補足説明資料の入手方法)

平成25年11月6日(水)に開催予定の第2四半期決算説明会後、速やかに当社ホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	11
(セグメント情報等)	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における我が国の経済は、政府による金融・財政政策に対する期待感から円安や株価の上昇など回復の兆しが見られるものの、雇用環境や所得の改善は限定的であることから個人消費は依然厳しく、先行き不透明な状況で推移いたしました。

そうした状況の中で当社グループは、経営理念である「人と社会に素晴らしい快を提供する」の精神を一層発揮すべきときと考え、顧客の潜在ニーズを満たす新製品やサービスの提供、市場の活性化を促す既存ブランドの育成、今後の成長事業への積極的な投資に努めてまいりました。

その結果、売上高は58,247百万円と前年同期と比べ5百万円(△0.0%)の減収、営業利益は8,623百万円と前年同期と比べ385百万円(4.7%)の増益、経常利益は8,840百万円と前年同期と比べ10百万円(0.1%)の増益となりました。四半期純利益においては5,953百万円と前年同期と比べ1,166百万円(△16.4%)の減益となりました。

セグメントの業績の概要は次のとおりであります。

家庭用品製造販売事業

当事業では、新市場の創造と既存市場の拡大に努めた新製品を39品目発売いたしました。なかでも、湿疹・皮膚炎を鎮める漢方油膜軟膏「アピトベール」や、お部屋用芳香消臭剤「消臭元 木のある生活」「消臭元 香る Flower」、愛犬家用芳香消臭剤「消臭元 いぬのきもち」、香るトイレ用洗剤「ブルーレット香るトイレ用洗剤」などが好調に売上を伸ばし、業績に貢献しました。

既存品においては、口腔衛生品では歯間清掃具「糸ようじ」「やわらか歯間ブラシ」、芳香消臭剤ではお部屋用芳香消臭剤「お部屋の消臭元」や水洗トイレ用芳香洗浄剤「ブルーレット」、食品では健康茶「小林製薬の杜仲茶」の売上が好調に推移しました。さらに、衛生雑貨品では東南アジア・米国などで販売している額用冷却シートが、順調に売上を伸ばしました。

一方、前年9月に発売した肥満症改善薬「ナイトールG」において発売時の大量出荷の反動もあり、医薬品の売上は前年を下回りました。

その結果、売上高は53,251百万円と前年同期と比べ909百万円(1.7%)の増収、セグメント利益(経常利益)は7,994百万円と前年同期と比べ43百万円(△0.5%)の減益となりました。なお、営業利益は8,248百万円と前年同期と比べ191百万円(2.4%)の増益となりました。

(売上高の内訳)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)		当第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)		増減	
	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	増減率 (%)
医薬品	11,611	22.2	11,247	21.1	△363	△3.1
口腔衛生品	8,002	15.3	8,135	15.3	133	1.7
衛生雑貨品	8,549	16.4	8,602	16.2	52	0.6
芳香・消臭剤	15,719	30.0	16,320	30.6	600	3.8
家庭雑貨品	2,203	4.2	2,214	4.2	11	0.5
食品	3,984	7.6	4,363	8.2	378	9.5
カイロ	2,272	4.3	2,368	4.4	96	4.3
合計	52,342	100.0	53,251	100.0	909	1.7

(注) 1. 売上高には、セグメント間の内部売上高又は振替高を含んでおり、その金額は前第2四半期連結累計期間では計1,359百万円、当第2四半期連結累計期間では計1,491百万円となっております。

2. 当第2四半期連結累計期間よりカテゴリーの一部見直しを行いました。その結果、前第2四半期連結累計期間の売上高において、平成24年11月2日付け公表の「平成25年3月期 第2四半期決算短信」に記載のものから衛生雑貨品は1,286百万円増加し、カイロは1,286百万円減少しております。

通信販売事業

当事業では、栄養補助食品、スキンケア製品等の通信販売を行っており、広告展開やダイレクトメールを中心とした販売促進による新規顧客の開拓と既存顧客への購入促進に努めました。

その結果、売上高は5,176百万円と前年同期と比べ259百万円(5.3%)の増収、セグメント利益(経常利益)は28百万円(前年同四半期はセグメント損失(経常損失)123百万円)となりました。なお、営業利益は24百万円(前年同四半期は営業損失125百万円)となりました。

売上高には、セグメント間の内部売上高又は振替高を含んでおりません。

医療関連事業

平成24年5月31日付けで連結子会社の小林メディカル株式会社の株式の80%を三菱商事株式会社に譲渡したため、同社は連結子会社から持分法適用関連会社となりました。なお、同社は平成24年11月1日付けで、日本メディカルネクスト株式会社に社名を変更しております。また、平成25年5月20日付けで残りの全株式も三菱商事株式会社に譲渡いたしました。

その結果、売上高は732百万円と前年同期と比べ1,079百万円(△59.6%)の減収、セグメント利益(経常利益)は488百万円と前年同期と比べ67百万円(△12.1%)の減益となりました。なお、営業利益は130百万円と前年同期と比べ115百万円(768.2%)の増益となりました。

売上高には、セグメント間の内部売上高又は振替高を含んでおりません。

その他事業

上記の3事業をサポートする当事業(運送業、合成樹脂容器の製造販売、保険代理業、不動産管理、広告企画制作等)では、各社が独立採算で経営をしているものの、3事業への利益貢献もその目的としており、資材やサービス提供についてその納入価格の見直しを適宜行いました。

その結果、売上高は2,736百万円と前年同期と比べ633百万円(△18.8%)の減収、セグメント利益(経常利益)は577百万円と前年同期と比べ13百万円(△2.3%)の減益となりました。なお、営業利益は156百万円と前年同期と比べ137百万円(△46.8%)の減益となりました。

売上高には、セグメント間の内部売上高又は振替高を含んでおり、その金額は前第2四半期連結累計期間では計2,829百万円、当第2四半期連結累計期間では計2,158百万円となっております。

(2) 財政状態に関する説明

総資産は、前連結会計年度末に比べ3,935百万円増加し、161,041百万円となりました。主な要因は、現金及び預金の減少(3,616百万円)、受取手形及び売掛金の増加(1,991百万円)、有価証券の増加(2,498百万円)、商品及び製品の増加(2,025百万円)等によるものです。

負債は、前連結会計年度末に比べ1,976百万円減少し、40,257百万円となりました。主な要因は、未払法人税等の減少(722百万円)、固定負債のその他の減少(351百万円)等によるものです。

純資産は、前連結会計年度末に比べ5,912百万円増加し、120,784百万円となり、自己資本比率は75.0%となりました。主な要因は、利益剰余金の増加(4,193百万円)、為替換算調整勘定の増加(1,527百万円)等によるものです。

営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動の結果獲得した資金は1,651百万円となりました。これは主に、税金等調整前四半純利益が9,313百万円、減価償却費が1,254百万円、売上債権の増加額が1,574百万円、たな卸資産の増加額が1,907百万円、法人税等の支払額が4,113百万円によるものです。

投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動の結果使用した資金は1,853百万円となりました。これは主に、定期預金の預入による支出が30,010百万円、定期預金の払戻による収入が29,500百万円、有形固定資産の取得による支出が1,456百万円、関係会社株式の売却による収入が1,000百万円によるものです。

財務活動によるキャッシュ・フロー

財務活動の結果使用した資金は1,919百万円となりました。これは主に、配当金の支払額が1,759百万円、リース債務の返済による支出が157百万円によるものです。

以上の結果、現金及び現金同等物の当第2四半期連結会計期間末残高は、前連結会計年度末より1,626百万円減少し20,695百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年3月期の連結業績予想につきましては、平成25年5月1日付け公表の「平成25年3月期 決算短信」に記載の業績予想から変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	45,862	42,245
受取手形及び売掛金	30,818	32,809
有価証券	1,506	4,004
商品及び製品	8,500	10,525
仕掛品	584	576
原材料及び貯蔵品	2,113	2,316
繰延税金資産	3,885	3,809
その他	1,141	1,717
貸倒引当金	△58	△59
流動資産合計	94,353	97,946
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	6,259	6,214
機械装置及び運搬具（純額）	2,410	2,467
工具、器具及び備品（純額）	1,111	1,097
土地	3,425	3,430
リース資産（純額）	385	257
建設仮勘定	137	568
有形固定資産合計	13,730	14,034
無形固定資産		
のれん	3,637	3,927
商標権	350	268
ソフトウェア	896	903
リース資産	14	20
その他	193	319
無形固定資産合計	5,092	5,439
投資その他の資産		
投資有価証券	37,891	37,415
長期貸付金	416	649
繰延税金資産	324	323
投資不動産（純額）	3,067	3,076
その他	2,366	2,291
貸倒引当金	△135	△135
投資その他の資産合計	43,930	43,620
固定資産合計	62,753	63,095
資産合計	157,106	161,041

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	11,577	11,413
短期借入金	4	2
未払金	12,360	12,142
リース債務	262	185
未払法人税等	4,091	3,369
未払消費税等	542	362
返品調整引当金	1,109	1,034
賞与引当金	1,881	1,841
事業整理損失引当金	1,047	1,047
資産除去債務	10	10
その他	1,588	1,533
流動負債合計	34,477	32,942
固定負債		
リース債務	163	121
退職給付引当金	4,883	4,833
役員退職慰労引当金	20	21
資産除去債務	72	73
その他	2,616	2,265
固定負債合計	7,757	7,314
負債合計	42,234	40,257
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,450	3,450
資本剰余金	4,219	4,219
利益剰余金	109,946	114,139
自己株式	△4,703	△4,704
株主資本合計	112,912	117,104
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	4,357	4,046
繰延ヘッジ損益	504	981
為替換算調整勘定	△2,904	△1,377
その他の包括利益累計額合計	1,958	3,650
新株予約権	—	27
少数株主持分	0	0
純資産合計	114,872	120,784
負債純資産合計	157,106	161,041

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)
売上高	58,253	58,247
売上原価	23,553	23,453
売上総利益	34,699	34,793
販売費及び一般管理費	26,461	26,170
営業利益	8,237	8,623
営業外収益		
受取利息	88	115
受取配当金	128	175
受取ロイヤリティー	252	242
不動産賃貸料	137	137
持分法による投資利益	303	66
その他	163	88
営業外収益合計	1,074	825
営業外費用		
支払利息	23	9
売上割引	335	320
不動産賃貸原価	37	35
為替差損	61	228
その他	22	13
営業外費用合計	480	607
経常利益	8,830	8,840
特別利益		
固定資産売却益	0	0
投資有価証券売却益	187	2
関係会社株式売却益	2,285	514
その他	164	36
特別利益合計	2,638	553
特別損失		
製品不良関連損失	—	19
固定資産除売却損	18	22
投資有価証券評価損	618	—
減損損失	14	28
その他	16	10
特別損失合計	667	80
税金等調整前四半期純利益	10,802	9,313
法人税、住民税及び事業税	3,820	3,384
法人税等調整額	△138	△24
法人税等合計	3,682	3,359
少数株主損益調整前四半期純利益	7,120	5,953
少数株主利益又は少数株主損失(△)	0	△0
四半期純利益	7,120	5,953

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	7,120	5,953
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	415	△310
繰延ヘッジ損益	22	△16
為替換算調整勘定	183	1,527
持分法適用会社に対する持分相当額	178	491
その他の包括利益合計	801	1,692
四半期包括利益	7,921	7,645
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	7,921	7,646
少数株主に係る四半期包括利益	0	△0

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	10,802	9,313
減価償却費	1,234	1,254
のれん償却額	174	205
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△33	△5
退職給付引当金の増減額(△は減少)	17	△2
受取利息及び受取配当金	△217	△290
支払利息	23	9
持分法による投資損益(△は益)	△303	△66
関係会社株式売却損益(△は益)	△2,285	△514
固定資産除売却損益(△は益)	17	22
売上債権の増減額(△は増加)	△1,030	△1,574
たな卸資産の増減額(△は増加)	△3,123	△1,907
仕入債務の増減額(△は減少)	△353	△336
未払金の増減額(△は減少)	△2,438	△231
未払消費税等の増減額(△は減少)	15	△178
その他	△58	△243
小計	2,440	5,453
利息及び配当金の受取額	205	316
利息の支払額	△21	△4
法人税等の支払額	△4,701	△4,113
営業活動によるキャッシュ・フロー	△2,077	1,651
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△12,500	△30,010
定期預金の払戻による収入	—	29,500
有価証券の取得による支出	△16,495	—
有価証券の売却(償還)による収入	20,500	500
有形固定資産の取得による支出	△1,014	△1,456
有形固定資産の売却による収入	40	65
無形固定資産の取得による支出	△217	△255
投資有価証券の取得による支出	△14,569	△142
投資その他の資産の取得による支出	△149	△74
投資その他の資産の売却による収入	33	66
長期貸付けによる支出	△440	△233
長期貸付金の回収による収入	32	2
関係会社株式の売却による収入	—	1,000
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の売却による収入	4,024	—
その他	185	△814
投資活動によるキャッシュ・フロー	△20,571	△1,853

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△4	△1
自己株式の取得による支出	△0	△1
配当金の支払額	△1,759	△1,759
リース債務の返済による支出	△192	△157
その他	1	0
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,957	△1,919
現金及び現金同等物に係る換算差額	17	495
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△24,588	△1,626
現金及び現金同等物の期首残高	42,835	22,322
現金及び現金同等物の四半期末残高	18,247	20,695

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第2四半期連結累計期間(自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注) 3
	家庭用 品製造 販売	通信 販売	医療 関連	計				
売上高								
外部顧客への売上高	50,983	4,917	1,811	57,712	540	58,253	—	58,253
セグメント間の内部売上高 又は振替高	1,359	—	—	1,359	2,829	4,188	△4,188	—
計	52,342	4,917	1,811	59,071	3,370	62,442	△4,188	58,253
セグメント利益又は損失(△)	8,038	△123	555	8,470	591	9,061	△230	8,830

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、運送業、合成樹脂容器の製造販売、保険代理業、不動産管理、広告企画制作等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失の調整額△230百万円は、セグメント間取引消去であります。

3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの資産に関する情報

「医療関連事業」において、小林メディカル株式会社の株式の80%を譲渡したことなどにより、前連結会計年度の末日に比べ、当第2四半期連結累計期間の報告セグメントの資産の金額は3,512百万円減少しております。

なお、小林メディカル株式会社は、平成24年11月1日付けで、日本メディカルネクスト株式会社に変更しております。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

固定資産にかかる重要な減損損失を認識していないため、また、のれんの金額に重要な変動が生じていないため、固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報の記載を省略しております。

Ⅱ 当第2四半期連結累計期間（自平成25年4月1日 至平成25年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注) 3
	家庭用 品製造 販売	通信 販売	医療 関連	計				
売上高								
外部顧客への売上高	51,760	5,176	732	57,669	577	58,247	—	58,247
セグメント間の内部売上高 又は振替高	1,491	—	—	1,491	2,158	3,650	△3,650	—
計	53,251	5,176	732	59,161	2,736	61,897	△3,650	58,247
セグメント利益	7,994	28	488	8,511	577	9,088	△247	8,840

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、運送業、合成樹脂容器の製造販売、保険代理業、不動産管理、広告企画制作等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△247百万円は、セグメント間取引消去であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

固定資産にかかる重要な減損損失を認識していないため、また、のれんの金額に重要な変動が生じていないため、固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報の記載を省略しております。